LED 電源取扱説明書　HS25S9FR シリーズ

製品を安全にご利用いただくため、必ずご使用前にこの取扱説明書をお読みください。

お客様へ	取り付けには電気工事士の資格が必要です。取り付け工事は電気工事店に依頼してください。
工事店様へ	工事が終了しましたら、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

《安全上の注意》

●本製品はLED照明用に使用されることを意図しております。LED照明用以外の目的には絶対に使用しないでください。
●LEDには極性があります。接続前には必ずLEDの極性と本製品の出力側の極性を確認の上、同じ極性同士を接続してください。
●誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示・説明します。

警告　この表示は、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示します。

注意　この表示は、人が障害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示します。

《保管上の注意》

注意	●高温・高湿の場所で保管しないでください。	●直射日光のあたる場所、振動が加わるところ、腐食性ガスの発生する場所で保管しないでください。

《設置上の注意》

警告	●設置作業は、経験を有する専門知識のある人が行ってください。感電、火災の恐れがあります。 ●設置作業はこの取扱説明書に従い確実に行ってください。設置に不備があると、感電、火災の恐れがあります。 ●設置は質量に十分耐えられる所に確実に行ってください。強度が不足している場合は、本製品の落下により、怪我をする恐れがあります。	●設置作業は入力電圧を切った状態で行ってください。感電、故障の恐れがあります。 ●入出力ケーブルに傷がつきそうな場所での設置は控えてください。傷がついたまま使用しますと、漏電、感電、火災の恐れがあります。 ●入出力ケーブルに過度の負担（折り曲げる、引っ張る、ねじる、物を載せる等）をかけないでください。ショートや断線による火災や漏電の恐れがあります。

《使用上の注意》

警告	●本製品のネジを取り外したり、ケースを開けたり、分解、改造しないでください。故障、感電、火災の恐れがあります。 ●入力電圧は正弦波交流のみとし、仕様範囲（入力電圧 85～264VAC　1φ、周波数 45～65Hz）以外では使用しないでください。感電、火災の恐れがあります。 ●必ず、本製品の出力電圧、出力電流に適合する LED を接続してください。故障、感電、火災の恐れがあります。	●本製品の周囲温度は、-30℃～+65℃の範囲で使用してください。これ以外の周囲温度でご使用になると故障、火災の恐れがあります。 （ここでの周囲温度とは、本製品の周囲温度であり、照明器具内の温度になります。狭くて、空気の対流がなく、熱がこもりやすい場所では、本製品のケース温度が 80℃以上にならないようご注意ください。）

注意	●落としたり、強い衝撃を与えないでください。 ●直射日光のあたる場所、揮発性、引火性ガスが発生する場所では使用しないでください。	●使用中に本製品が故障し、異臭、異音が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。

《その他注意事項》

注意	●本製品は、シリーズ毎に使用環境の異なる安全規格を取得しております。それぞれの安全規格条件に従って使用してください。	●本製品には寿命があります。使用条件によって異なりますが、8年～10年が交換目安です。 ●本製品を廃棄する場合は、各自治体の廃棄方法に従って処理をしてください。

取り付け方法

1．取り付け前の確認

●本製品の質量（約 0.5kg）に十分耐えられるような取り付け部強度を確保してください。
●図 1 に示すような本製品の周囲環境について、図 2 に示す温度測定ポイントが 80℃以下となるように、特に下記の点にご注意ください。
・製品を 2 台以上並べて設置する場合は、相互の熱の影響を受けないよう間隔をあけてください。
・LEDモジュールの熱の影響を受けないよう、製品とLEDモジュールの間隔をあけてください。
・製品をケースの中に収納する場合は、ケースの容積を大きくし製品が過熱しないようご注意ください。
・断熱材や防音材などをかぶせたりしないでください。

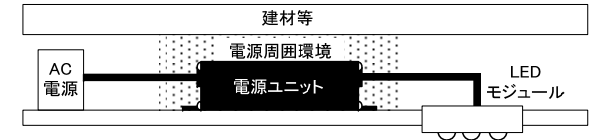



図 1

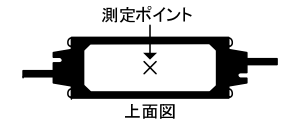
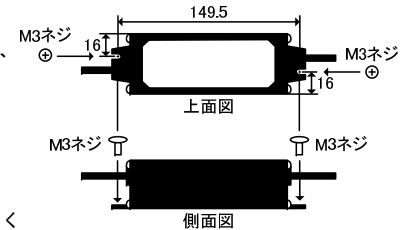



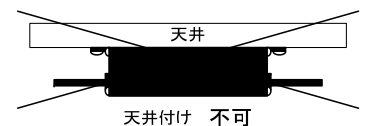
図 2

2．製品の取り付け

●図 3 のように、M3 のネジを適切な締め付けトルク（0.6N・m 以下）にて、指定の場所に確実に行ってください。
●図 4 のように天井付けをしないでください。（壁付けは可）

図 3

図 4

3．接続

●入力電圧を切った状態で接続してください。
●本製品の出力電圧、出力電流に適合する LED を図 5 のように接続してください。
●LED には極性がありますので、本製品の出力側の極性を確認の上、同じ極性同士を接続してください。
●延長ケーブルをご使用の際には、本製品の電圧、電流仕様に適した線材を使用してください。
●本製品を複数台使用した出力の直列接続、並列接続はしないでください。
●必ず FG 線を接地して使用してください。

4．調光器の接続

●図 5 のように調光器は調光用端子に接続してください。
●PWM 信号仕様に適合した調光器を使用してください。
●調光用端子に極性はありません。
●調光器との接続ケーブルは、調光用端子部分で PWM 信号の仕様範囲に入る長さのものを使用してください。
●調光機能を使用しない場合は、PWM1、PWM2 の線に外部から電圧が加わらないように絶縁処理をしてください。

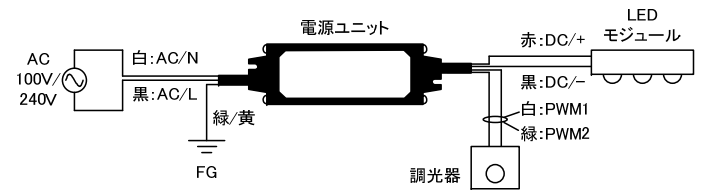



図 5

製造元：新電元工業株式会社
本製品に対するお問い合わせは各販売店にお願い致します。